

# (一財) 日本水土総合研究所 秋田セミナー

参加  
無料

## 「水田の有効利用」～JA あきた白神営農部 佐藤和芳部長による基調講演～

農業と農村は、国民に食料を供給するのみならず、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的機能を発揮しています。しかしながら、農業就業者の高齢化や農村人口の減少により農業経営・技術の継承や労働力の確保、地域資源の維持が困難となっています。

このため、担い手への農地集積による生産コストの削減や農地・農業用水等の資源保全のための施策が展開されており、全国各地の農業・農村の現場では、圃場整備を契機とした農業経営の複合化・多角化や雇用・所得の創出などの多様な取組が進められています。

こうした中で、(一財)日本水土総合研究所は、昭和53年の設立以来、農業農村整備及び農村振興に関する政策的・技術的課題に関するシンクタンクとして調査研究を行ってきており、平成30年度に創立40周年を迎え、今後とも調査研究の深化とその成果の発信に努めることとしています。

この度、成果発信の一環として、広大な水田と全国トップクラスのコメ生産力を有する秋田県において、「水田の有効利用」をテーマとするセミナーを下記のとおり開催することといたしました。

秋田県において、水田農業は地域経済の基幹産業であり、また、稲作を基幹として、大豆やそば等の土地利用型作物にエダマメやネギ、アスパラガス等の収益性の高い園芸作物を組み合わせた複合型生産構造への転換が進められています。

そこで、本セミナーでは、水田地帯でのネギの10億円産地を形成し、その更なる発展に取り組んでいるJAあきた白神の佐藤和芳営農部長から、「秋田県園芸メガ団地における白神ねぎの取組について」と題して現場の取組について御講演いただきます。

また、当研究所からは、「自動走行農機等の導入に係る基盤整備推進方策」や「気候変動を踏まえた農地排水事業の計画策定」について日頃の研究成果の一端をご紹介します。

多くの方に本セミナーにご参加いただくことで、今後の地域農業の振興に資する農業農村整備事業・農村振興施策の推進の一助となれば幸いです。

日時：令和元年 9月 3日(火) 13:30～16:30  
(開場・受付 13:00～)

会場：秋田キャッスルホテル 4階 矢留の間

〒010-0001 秋田県秋田市中通 1-3-5

TEL：018-834-1141

交通アクセス 秋田駅から徒歩7分

お車でお越しの方はホテル駐車場や近隣駐車場(いずれも有料)をご利用ください。

定員 100名 (定員になり次第締め切りとさせていただきます。)

主催 一般財団法人 日本水土総合研究所

写真：能代平野の水田地帯 (JAあきた白神提供)

# プログラム

13:00	開場・受付	
13:30	挨拶	一般財団法人 日本水土総合研究所理事長 齋藤 晴美
13:40	基調講演 (50分)	秋田県園芸メガ団地における白神ねぎの取組について JA あきた白神営農部長 佐藤 和芳
14:30	質疑(10分)	
(14:40~14:50) 休 憩		
14:50	当研究所紹介	
15:00	講演 (40分)	自動走行農機等の導入に係る基盤整備推進方策 一般財団法人 日本水土総合研究所調査研究部部長 瀧川 拓哉
15:40	質疑(5分)	
15:45	講演 (40分)	気候変動を踏まえた農地排水事業の計画策定 一般財団法人 日本水土総合研究所調査研究部主任研究員 小倉 健一郎
16:25	質疑(5分)	

## 【会場】秋田キャッスルホテル 4階 矢留の間



## 【講師】JA あきた白神営農部長 佐藤 和芳（さとう かずふさ）氏

昭和 38 年生まれ、昭和 60 年旧能代市農業協同組合入組、

平成 10 年あきた白神農業協同組合（合併）、平成 22 年営農部営農企画課長、令和元年現職

このまま切らずに FAX 又はメールで送付してください

### 参加申込書

定員（100 名）になり次第締め切りとさせていただきます。

所属等	参加者氏名	CPD 登録番号*
〒		
住所		
電話番号		

\*本セミナーは（公社）農業農村工学会技術者継続教育機構（CPD）認定プログラムとして申請致します。

### 申込先

**03-3502-1329 (FAX) 又は ryo-okazaki@jiid.or.jp (メール)**

お問い合わせは、日本水土総合研究所 小倉、岡崎までお願いします（電話 03-3502-1387）